

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

経営とは全人格的なものである 古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. 規模を問わず、価値を失い改革も断行できない企業は淘汰される時代に突入したというよりも、ずっと続いています。市場の環境も世界経済もいろんな条件がより不安定、かつより急速に動く世の中になっている。その中にある以上、経営者も変化に応じたフレキシブルで素早い対応をする覚悟が必要です。
2. 経済とは競争を通じて合理的に動くことです。だから企業規模の大小を問わず、競争はしなくてはなりません。まず何より大事なものは、企業とは社会にどれだけの価値を与えられるかという点に存在する価値がある、ということです。その意味で「競争力を失った企業は退出せよ」というのは正しい道理であり、また実際そうなります。
3. 経営判断には時に犠牲や代償が伴います。そういった痛みを経営者が背負えるのかどうか。それには勇気が必要です。優等生は左脳だけ鍛えて育っている。論理だけ。しかし、経営の問題というのは、正解がありません。「この問題はこう解決しましょう」という答えはない。未知の事ばかりです。そうすると左脳だけじゃダメなんです。勇気に情熱、ロマンさらに冒険心や美学と、いろんな要素が必要です。経営とは全人格的なものなのです。

(参考:「週刊東洋経済」2015年12月5日号)

## 経営者のための理念・哲学

本当の学を志した孔子

伊與田 覺 (論語普及会学監)

1. 孔子は、「論語」の有名な一節にもあるとおり、「吾十有五にして学に志し」たのです。孔子が志したのは、公立の学校に入り、立身出世のためのテクニックを学ぶことではなく、本当の学でした。本当の学とは人間学、つまり己を磨き、立派な人間になることを志したわけです。
2. 人間となるためには、二つの道があります。一つは人間の本質というものを育て上げていく ほんがく 本学、人間学を学ぶことです。もう一つは、様々な技術的なことを学ぶ じむがく 時務学であり、当時は「礼・楽・射・御・書・数」の六芸が重んじられていました。孔子には、貧しい生活から抜け出すために出世を目指しながら学ぶ道もありましたが、自ら人間として立派なることを目指し、人間学に志したのです。

(参考:「致知」:2016年2月号)

## 経営者のための危機管理

バスサービスを考える

野口悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. バスは、公共的な性格が強いので、市場原理の導入を認めてよいかどうかは簡単に判断できない。しかし、これまで通りでよいかどうかは、もちろん問題だ。バスに関して、これまで強い規制が行われてきた。強い規制がなされる第 1 の理由は、「バスは多数の乗客を運ぶため、安全性の確保が重要だ」ということだ。安全を確保していない業者が参入してくるかもしれない。
2. 第 2 の理由は、「市場原理に任せれば、赤字路線の切り捨てという問題が発生する」というものだ。もしバスサービスが市場原理に従って供給されるなら、収入が多い所だけでサービスが提供されることになるという批判である。そして、黒字路線は参入してきた事業者に取り残られてしまう。また、地域格差に関しても問題を提起する。輸送サービスの需要が多い所だけで公共輸送が提供されれば、大都市がますます便利になって人口が集まり、地方都市がますます衰退するのではないかと懸念だ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2015年12月12日号)

## 古典に学ぶ

仏教から始めよう

(解説) 仏教から始めよう。仏教は運命の信愛、避けられないものへの静かな服従、危険や災害に直面してあのストア的 (ストア哲学は紀元前三世紀ゼノンが始めた。自然の理法 (=神、運命) に従って生き、快樂・欲望をおさえることを勧めた) な心の平静、あの生の けいべつ 軽蔑と死との親しみの心を与えた。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)